

日本軍「慰安婦」のその後の生きざまを描いた  
ドキュメンタリー映画  
「やさしく (보드랍게)」  
上映＋監督との対話



2025年1月18日(土)

開場 14:30

上映 15:00

対話 16:40

(17:40 終了予定)

立命館大学衣笠キャンパス  
充光館地下シアター教室  
(JK 001)

ゲスト

パク・ムンチル監督

参加費無料・事前申し込み不要

映画：韓国語、日本語字幕

対話：日本語／韓国語通訳あり

共催 立命館大学国際言語文化研究所ジェンダー研究会、立命館大学コリア研究センター、大邱大学人文科学研究  
所

後援 韓国研究財団

……誰にも会いたくなかったんだよ。会って話をしても誰もわかってくれないから。私の話を聞いて、「あー、大変だったんだね」って、こんなふうにやさしく話してくれる人なんかいない。(映画より)

キム・スナク(金順岳)さんは植民地期に「慰安婦」として動員され、解放後に韓国に戻った後、生き延びるために遊郭で妓生として働き、米軍基地村で水商売を営む「ママさん」にもなった。「慰安婦」被害者らしくないこの人生は、これまで韓国社会で消し去られてきた。キム・スナクさんが残した口述や様々な記録をもとにその生きざまを蘇らせた本作は、私たちが目を背けてきた時間に、私たちを否応なく向き合わせる。2022年公開／韓国／73分／ドキュメンタリー

お問い合わせ：立命館大学国際言語文化研究所

<http://www.ritsumeai.ac.jp/research/iilcs/> E-mail: [wkt26465@fc.ritsumeai.ac.jp](mailto:wkt26465@fc.ritsumeai.ac.jp)

